

封鎖貫徹！大学当局の医学部斗争

圧殺に抗し試験ボイコットを闘いぬけ！

いま問われていることは何れも
学友諸君、全この学友は、医学部提議した向題と斗
いに身をもつて行動を促される必要はある、そのことは何ま
りも市大の大学校和改革の通り新しい大学への道を切り拓
くことになるのである。

封鎖貫徹！試験ボイコットを闘
じて内なる市大を生き永たせよ。

大学協賛会（最高決定機関）は、既に医学部斗争の圧殺
を我々の前に宣言した。我々は、医学部斗争を全面的に勝
利するまで斗い抜くことを宣言する。彼らにいわせれば、
徹底的に討伐し学生の意見を反映させるはずの「民主的」
大学協賛会が、こいさの国文の中で、何れ我々に批判を
展開できず、知のハゲモノの要失を現体制を守る（学生
排除）ことによつて何うかして回復してきたのである。口
を叩けば「学内のルール」を口にする大学当局は、そのル
ールが教授会自治の口大校路線に外ならず、国家、大阪中
の法律の番くになりなつてゐることを証明している。「
大学の正常化」や「事態の収拾」という全日大学の台言葉
は、空虚な空文としてしる存在しない。問題の解決では
なく、戦争をみしとどめつて下吏の意歩をみしとどめよ
うとする。ここに於て、本々全人類の利害を代表する大学
や、国家法秩序を維持する権力であることを物語っている。
昨日の試験中止を「遺憾」と述べる前に、大学当局は自らの
怠慢と無責任さを悔むべきである。試験期を遅しつづめる
我々は、試験を中止してまでも斗いの深さを広げたりを認め
るべきである。即ちの医学部斗争を提議した現在の大学校
和のあり方に対する根底的な斗いと改革の意を、そして
②それを何とめして「学内の民主的ルール」で圧殺、収拾
しようとするかになつてゐる大学当局の腐敗と無責任の体
系に対して自主管理をもって要求を貫徹せねばならない
自主管理は学生の無権利状態を打破し、自己の生き永に於
ける口地として存在する。

大口学部斗争を要員は公を組織し、ハエ
学部斗争を要員は公を組織せよ。

学友諸君に訴える、学生の無権利状態の歴史を表現
である教授会自治に圧殺し斗争を水泡に帰してしまふのや
それとも医学部斗争の成果を切り拓き学生の権利を全力主張へ
自主管理するのや、2月10日を契機と各学部学生、教
生、教員に於てこの闘争に闘争する意を討伐教育を止め、
全学部の学友を擁護してゐる。各学部の斗争委員は設置
し、拒否の意思、即ち闘争の決意に決定しよう。全学
部斗争委員会は組織しよう。全学友の闘争を指導し、自主
管理斗争を通じて一学友の要求を貫徹せよ。

全印委（准）マピール